

令和3年度 事業報告書

第2期

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

社会福祉法人たいむ共生会

1 令和3年度概要報告

令和2年2月25日の『社会福祉法人たいむ共生会』設立から、既に2年が終了し、早いもので3年目の事業がスタートしたところです。

決算につきましては、事業活動計算書におけるサービス活動収益合計は340百万円と前年度とほぼ同様の収益でした。一方、サービス活動費用合計は経費節減に努めた結果、前年比8百万円減の327百万円であり、最終的な当期活動増減差額は17百万円と前年5百万円を12百万円上回ることが出来ました。主な増減要因としては、収入は放課後等デイサービスの報酬改定による単価減のなか横ばいであるが、費用はコロナ関連費用の減少、事務費・事業費の効率的な支出に努めた結果であります。これもひとえにコロナ禍において事業運営に神経をすり減らす中、役職員一体となり適切な事業運営に取り組んだ結果であります。

昨年度を振り返ってみますと、コロナ感染症対策に翻弄された1年となりました。当法人も感染症対策に万全を期していたにも関わらず一部事業所において利用者様、職員等が陽性者・濃厚接触者となり、事業運営に大きな支障がでましたが、役職員一体となり取り組むことで事業運営の確保を図ることが出来ました。

法人本部等の移転・建設につきましては、久喜市都市計画課への開発許可申請と併せて令和4年度社会福祉等施設整備費補助金事前協議書を埼玉県福祉部へ提出し、審査に向けて協議中でありました。しかしながら久喜市都市計画課における開発許可申請の事前協議において、計画の変更を求められ、理事会・評議員会の了承のもと通所施設（児童発達支援・放課後等デイサービス）として、再度開発許可申請を行うこととなりました。これを受けて、施設整備費補助金事前協議書についても埼玉県と協議した結果、審査までの期日に間に合わないことから、止む無く事前協議書の取下げをいたしました。

一方、共同生活援助（(仮称)ケアホーム・タイムさくら）における令和4年度社会福祉等施設整備費補助金事前協議書（再協議分）については、コロナ禍における影響で国の予算が大幅に減少していることから、埼玉県より令和4年3月17日付で当法人の整備計画については不採択との通知がなされました。

生活介護事業所ツリーぴあは、20名の利用者様が通っていますが、コロナの影響で自宅待機する利用者もあり、在宅支援という形での特別な支援も長く続きました。内職の仕事もコロナの影響で激減する中、創作活動の時間を増やし季節ごとの素敵な作品が完成し、活動の幅が広がりました。しかし、今年もイベント等はことごとく中止だったため、手作り品の販売はできませんでした。

ケアホーム・タイムわかばも9年目を迎え、多くの世話人・支援員が関わる中6人の特性を理解し、安定した生活が送れるように努力していますが、障がいの特性の違いから不都合な時もあり、2棟目のホームの建設を望んでいるところです。

また、施設屋内の環境整備や衛生管理もコロナ禍でさらに徹底し、安心・安全な暮らしを保っていました。

障害福祉サービス・移動支援・生活サポートは、他の事業に比べると大きくコロナの影響を受けました。特に一對一の外出支援が多かったため、キャンセルが相次ぎ例年の利用量を大幅に減らす結果になりました。コロナ対策に関しましては法人全体で取り組み、ご利用者に安心して安全にご利用いただけるよう、今後もしっかり取り組んでいきたいと思っております。平日の昼間のご利用はまだ空きがありますので、居宅・身体介護・重度訪問・同行の利用者様を重点的に増やしていきたいと思っております。逆に土曜・日曜・祝日の利用は、人手不足のためお断りすることもあり、常にヘルパー求人募集をかけています。

平成 25 年 2 月から始まった相談支援事業も 9 年目を迎え、定期的に利用者様にお会いしているので、信頼関係が構築されてきていると思っております。今年は、コロナの対策としてアクリル板の設置や電話での聞き取りをメインにモニタリングを行いました。また、9 月から相談支援専門員が一人増え、利用者数も増えました。

児童発達支援および放課後等デイサービスは、「ゆっく」「りずむ」「めろでい」「かのん」と 4 事業所で活動をしています。全国的に放課後等デイサービスの事業所数が激増した分、今年度の厚労省の報酬改定では放課後等デイサービスの大幅な報酬減が行われ、経営的にはかなり厳しいものになりました。そこで、今まで利用人数マイナス 3 の人数の指導員で運営していましたが、今年度からマイナス 4 の指導員人数でお願いし、人件費の削減に努めました。また、今年も今までとは違う状況下の中で活動の制限はありましたが、手指消毒や検温を行い健康管理に努め、全スタッフ協力のもと室内環境整備やグループ活動などの工夫を行い、安全で楽しい時間を過ごせるようにしてきました。

自家焙煎たいむは、ツリーぴあの利用者様のお仕事（清掃、豆の選別、計量、配達等）がとても上手になり、特に豆の選別はスタッフも驚くほどです。また、自家焙煎で働く利用者さん・指導員の数も増え、指導員はみな珈琲焙煎も上達しました。コロナ禍の中で、お店のコロナ対策には特に力を注ぎました。また、土曜日はタイムが密になるため、何組かの利用者様が昼食場所・休憩場所として積極的に使ってくださいました。イベントもなく売上は減っていますが、福祉施設のお店としては大切な場所になっていると思っております。久喜市議会事務所・福祉委員会の会議でのコーヒー注文も増えました。

『親の会』から始まった NPO 法人ハローハンディキャップ・タイムですが、社会福祉法人に変わって、「たいむ共生会を支える会」として親に限らず多くの方に支えてもらえるよう規約を作成しました。しかし、未だ続いているコロナのため、皆さんに周知するには至っていません。また、子ども夢基金助成金（文化庁）をいただいている毎月の『せえ〜の』は、異年齢の子どもたち・青年・親子が集まって音楽や遊びを楽しみ、心を開放しそれを表現するという、とても意義ある活動なので、本年度も引き続き行っていきます。

新法人になっても、親たちが孤立することなく支え合い、つながっていけるよう、これら親の会の活動は継続して行っていきたいと思っております。

2 令和3年度各事業部まとめ

(1) 障がい福祉サービス事業

成果：

- ・ 支援での成功例や課題を共有するためのファイルを作成したことで、サービス提供責任者が不在の時も情報を共有することができるようになった。
- ・ ヒヤリハットへの意識を高く持つことで、ヒヤリハット報告書として記録を残すことができた。
- ・ 感染症対策として消毒・手洗い・体調管理・換気等を徹底して行ったことにより、感染を広めることなく支援することができた。
- ・ 事務の一部を経理に移行したことにより、利用者様やパートナーとの連絡に時間を割くことができるようになった。

反省：

- ・ ご利用者様の支援依頼にお応えできず、**支援のお断り**をすることがあった。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、ご利用者様の行動範囲・支援内容が狭められてしまった。
- ・ 日々の支援や業務に追われ、顔を合わせての打ち合わせや会議の時間がなかなか持てなかった。
- ・ 支援と事務のバランスをとることが難しく**事務残業を軽減**することができなかった。

課題：

- ・ 研修への積極的参加と内部研修により、スタッフのスキルアップを図る。
- ・ ケース会議、支援会議等を計画的に行うようにする。
- ・ 支援内容や留意事項等をパートナーに確実に伝えていく。

(2) 移動支援事業

成果：

- ・ コロナ禍のなか感染対策・予防を徹底できたので、クラスターを出すことなく業務を継続できました。
- ・ 利用者様スペースを分散して、3密にならないように注意しながら支援できました。
- ・ 職員・パートナー間のコミュニケーションを密にできたため、利用者様の状況や支援内容などの共有ができました。
- ・ 福祉・移動・生活サポートの職員が協力、連携して業務を円滑に遂行できました。

反省：

- ・ サービス依頼書など書面作成にかかる時間がとれませんでした。
- ・ 人員不足のため、利用者様のご依頼にお応えできないことが多々ありました。

課題：

- ・ より細かい利用者様の情報を共有するため、サービス依頼書など書面を作成する。
- ・ **業務の効率化を図り、残業時間を軽減させます。**

(3) 生活サポート事業

成果：

- ・ コロナ禍の中、室内・車中の消毒を気をつけて行ったため、感染者を出すことなく業務を継続できた。
- ・ 請求業務のまとめを経理に、移行したおかげで、請求にかかる残業時間が軽減できた。
- ・ 管理者だけでなく、職員に相談することにより、シフト組の時間が短縮出来るようになった。

てきた。

- ・ 監査の準備がスムーズに行うことができた。
- ・ 職員、パートナーの増員により、事務業務の時間がとれることができた。
- ・ 追加支援、緊急な依頼にも応えられることが多かった。
- ・ 職員間で、事務業務を分担し、円滑に行うことができた。
- ・ 他事業所の管理者と連絡を取り合い、お断りを減らすよう努力した。

反省：

- ・ 職員の事務業務の時間を取れるようになったが、時間を上手く使えていないので、出来ることを増やしていく。
- ・ 土日の事務所が不在になる体制が、まだ改善されていない。
- ・ 確認不足により、支援の抜けなどがあり、利用者様にご迷惑をかけてしまうことがあった。

課題：

- ・ 事務業務の整理
- ・ 引き続き人材を確保し、利用者様の希望に応えられるような体制を作っていきたい。
- ・ タイムの理念でもある、「利用者様によりそう」という姿勢をパートナーさん、職員に浸透させていきたい。

(4) 児童発達支援および放課後等デイサービス事業(ゆっく)

成果：

<午前の部>

- ・ らるご、ぴんぽんを週に1回やることにより、音楽を通して療育的プログラムを実地することができた。
- ・ 毎週支援の質を高めるために会議、ミーティングを行っている。スタッフの参加率が良かった。
- ・ ゆっく通信を発行し始めて、1年半続けられた。これからも毎月、発行していきたい。

<午後の部>

- ・ じゃがいも、大根、さつまいも掘りを行った。畑での活動の機会は少ないので、いい経験になりました。
- ・ 水害を想定した避難訓練を行い、避難経路、避難場所の確認を行うことができました。
- ・ 合同のイベントを行うことができませんでしたが、事業所内で季節の行事を実施して楽しむことができました。

反省：

<午前の部>

- ・ 県や市の研修に参加するスタッフが少なかった。
- ・ ロッカーや送迎車に忘れ物をすることがあった。

<午後の部>

- ・ 作業療法士の方が午後は他のデイに行くためアドバイスを受ける機会が少なかった。
- ・ 忘れ物の確認が不十分で、ロッカー等に荷物が残っていることがあった。

課題：

<午前の部>

- ・ 個別支援計画の書き方を、誰が見ても分かりやすいように工夫していきたい。
- ・ 集団での遊びを取り入れる。

<午後の部>

- ・ 個別支援計画書の内容やご家族からの要望をスタッフで共有し、個々のニーズに合った支援を行う。
- ・ 引き続き帰るときや、送迎時の車内の確認を行い、忘れ物をしないようにする。

帰る時はお互い声を掛け合いながら荷物の確認を行う。

(5) 放課後等デイサービス事業（りずむ）

成果：

- ・前年度に引き続き、感染症対策として室内の換気や消毒、子どもたちの手指消毒など予防を徹底して行いました。
- ・また密を避けるため、おやつや公園などのお出かけも分散しました。
- ・公園では鬼ごっこやボール遊び、室内ではボードゲームや子どもたち自身が考案した遊びなどお友達同士の関わりが増えてきました。また、子どもたちの異年齢化で高学年が低学年の面倒を見るなど交流が多くなりました。
- ・りずむ会議で個別の課題や目標、最近の様子をスタッフ間で共有することで支援の統一につながってきました。
- ・コロナ禍で合同のイベントは出来ませんでした。事業所内で季節の行事を実施しました。
- ・2ヶ月に一回作業療法士の先生からの助言により、スタッフ同士の支援の方向性の統一につながりました。
- ・言語音楽療法士による「ぴんぽん」の時間が定着し、子どもたちが音楽療法を楽しみながら受けることが出来ました。
- ・火災避難訓練と水害を想定した災害訓練をしました。

反省：

- ・帰宅時に忘れ物の確認が徹底できなかった。りずむ室内だけでなく、送迎時の車内に忘れ物があることが多かった。
- ・学校数が多く下校時間が異なる為、行く公園や活動内容が同じようなものが多かった。

課題：

- ・りずむ会議の中で、
 - ・個別支援計画書を共有しながら個々のニーズにあった支援を行う。
 - ・スタッフ同士の情報共有を行う。
- ・下校時間の把握を確実にやっていく。
- ・学校がある日の活動内容をスタッフで意見を出し合い、メリハリがある支援を行って行く。
- ・次年度も消防訓練、水害など自然災害訓練を定期的に行う。
- ・子ども達が、りずむに楽しく安心して通えるようにより一層環境整備を行う。
 - ・安全性の確保
 - ・衛生面の強化
 - ・子ども達への対応の見直し

(6) 放課後等デイサービス事業（めろでい）

成果：

- ・支援前の打ち合わせの時間が無くなったが、週一回の会議の時間を作り、情報共有の時間を作った。
- ・前年度に引き続き、感染症対策として玄関での消毒、手洗い、うがいが習慣づいてできるようになりました。また、室内の換気や子どもたちの手指消毒など予防も徹底して行いました。
- ・利用者さんが帰ってからの掃除もこれまでの掃除に加え、使った玩具の消毒、壁や手すりなど日々触るものの消毒を実施しました。
- ・おやつ時間は密にならないように4つのテーブルに分けてパーテーションを置き、少人

数で座るようにしました。おかしも一人分ずつ袋分けし、残したときは持ち帰れるようにしました。

- ・食物アレルギーの利用者さんがいるのでおやつ後は別の部屋に移動し掃除機、モップがけを徹底しました。スタッフ同士で子どもたちを見ている人、掃除をする人と連携が取れていました。
- ・火災、地震の避難訓練と水害を想定しての避難訓練を行いました。事前告知を行ったことで慌てることなく避難することができました。

反省：

- ・連絡帳の記入漏れ、水筒、マスク等の忘れ物があり、確認不足でした。
- ・活動の内容がマンネリ化してしまい、工夫が足りなかった。
- ・職員・スタッフのコミュニケーションが不十分でした。

課題：

- ・会議の内容を充実させ、情報を共有して支援に活かせるようにする。
- ・個別支援計画を共有しながら個々のニーズに合った支援を行う。
- ・小麦アレルギーの利用者がいるので引き続きおやつ時間の対応に十分留意していく。
- ・勉強会を取り入れスタッフのスキルアップを図る。
- ・毎月制作物やお楽しみ会などを取り入れ変化を入れていく。

(7) 放課後等デイサービス事業 (かのん)

成果：

- ・かのんの目標である会議での話し合い（忌憚のない意見交換）ができ、一回一回の会議が有意義な会議になっていたと思います。毎回、会議の参加人数も多かったと思います。
- ・「めろでい」から、「かのん」に移り、本人も含め不安があったであろう利用者が本人とスタッフ双方が努力した結果、とても成長できました。
- ・他害行為、登所拒否などが多くみられる利用者に対しスタッフが協力しあい問題を一つ一つ解決し、成長できました。
- ・集団の中で以前はスタッフとの関わりが多かった利用者が友達同士の関わりやコミュニケーションを以前より取れるようになったと思います。
- ・前年度から続くコロナの影響で、活動が通常通り、できない時期が何度かあり、利用者が、かのんに来られない時はヒアリング（在宅支援）を保護者が快くさせてくださり、とても感謝しています。毎日対応ありがとうございます。
- ・登所時には、引き続き、手洗いうがい検温を徹底し体調管理に気をつけていました。
- ・各スタッフが衛生管理をしっかりとしてくれた事もあり、コロナを含む他の感染症なども出ませんでした。
- ・ミーティングの時間がなくなりましたが、スタッフ同士、前日あった事、利用者の状況、個別支援計画書の支援内容の確認、支援方針の共有を図り課題や問題点の解決にスタッフ全員で工夫しながら支援ができたと思います。
- ・たいむ共生会の理念を大切にし、かのんの合言葉である、誠実 団結 正義に基づき、いかなる場面でも利用者一人一人が主人公とし常に誠実に関わり、問題が起きた際はスタッフが連携し団結力を持ち立ち向かい、保護者様からの質問・苦情・要望に対しましては、一つ一つ事実確認をしっかりと取りながら慎重に誠実に対応し事実を歪める事なく「相談してよかった」と思ってもらえるよう常に正義の信念を持ち、解決し対応していき常に精錬でありたいと思います。

反省：

- ・家庭連絡帳の記入漏れや帰宅時に忘れ物がありましたので徹底します。
- ・活動する場所が同じになってしまいがちでした。

課題：

- ・毎日のミーティング時間がなくなってしまい前日あった事を共有しづらくなりましたが、その分、ひと月の、かのん会議の時間を与えてくださったので、その会議の時に入念に話し合いをし、共有していき有意義な会議になるように努めていきたいと思えます。
- ・下校時間や部活動、陸上大会の練習など変則的な時にも間違いなく、お迎えに行けるよう気をつけます。日々の（当たり前）を徹底できるように頑張ります。
- ・日々の活動の幅がひろがるように工夫していきます。
- ・「かのんに行きたい」と利用者が思ってくれるように日々努力していきたいと思えます。

(8) 生活介護事業事業（ツリーぴあ）

成果：

- ・元気に通所し、体調を崩して休むことが少なくなっている。
- ・コロナ渦で内職も安定せず、作業内容も様々ではあったが、その時の状況に合わせた対応が出るようになってきている。
- ・椅子等は直接来所して個人での購入がありました。
- ・毎朝のミーティングや会議を通して、支援員同士が共通理解を持つようになり、声を掛け合っただけの連携や対応が出来るようになってきている。
- ・月1～2回リーダー会議を開き、今の問題点・対応策について話しあった。
- ・「ぴあ通信」の発行により、活動の様子を知らせることができた(1～2ヶ月に1回)。
- ・季節感のある製作活動にも取り組むことができた。その作品を表現活動「せえ～の」の時に展示させて頂き、多くの方に観てもらうことができた。
- ・藤本先生の研修会があり、1日目は重度の方への接し方や声の掛け方等を学ぶ(コロナの関係で2日目の身体を使っただけの研修は延期になった)。

反省：

- ・朝のミーティングに参加できない人や送迎に出してしまう職員との連携不足があった。
- ・イベント等が無く販路が広がらなかった。
- ・仕事の分担が上手くいかずに偏ってしまった。
- ・研修の参加が進まなかった。
- ・各会議の内容が伝わりきれなかった。

課題：

- ・ぴあ会議・リーダー会議だけではなく、問題点が出てきたときには、短い時間でも会議等を開き話し合っていきたい。
- ・グループ毎の話し合いの時間を作れるようにしていきたい。
- ・報連相を密にして些細なことでも情報共有できるようにし、支援員同士のコミュニケーションをとる。
- ・利用者様、保護者様の声が届くようにしていきたい(些細なことでも話をしてくれるような環境づくり)
- ・外部や内部の研修に参加できるようにしたい。
- ・製品を作れる人を増やしていきたい。
- ・会議の内容が全体に届くようにしていきたい。

(9) 共同生活援助事業（わかば）

成果：

- ・利用者様に対して積極的に関わり褒めるようになった。朝の登所のときも楽しく行ってもらえるように心がけるようになった。
- ・利用者様の特性を把握できるようになった。
- ・通所事業所と会議を開くことで、お互い信頼関係が気づかれ、利用者様にとっても良い方向に進めるようになった。
- ・月曜日の夜の時間を利用してリビングでみんなと仲良くいられる時間が増えた。
- ・仕事の整理と仕事分担表を作ることで、見える化を図ることができた。

反省：

- ・親御様からの要望や通所事業所からの連絡等の情報共有ができなかった。
- ・個別支援計画書に基づいた支援ができないところがあった。
- ・会議で話し合いをし、実行に移すが、時間が経つと崩れてしまった。
- ・支援員・世話人とのコミュニケーションがうまくいかなかった
- ・利用者様の心の変化や不穏時に、どのように支援・言葉がけをしたらよいか分からなくなってしまった。

課題：

- ・通所事業所との会議をできるだけ行うようにしていき、利用者様の情報を共有していく
- ・個別支援計画書をしっかりと把握し、それに沿った支援を心がけていく。
- ・支援員中心ではなく利用者様中心の支援をしていく。
- ・新たに決まった方向性などを、速やかに共有していくように、コミュニケーションをしっかりとっていく。
- ・誰かがではなく、自分がとの想いを頭にいれて行動していく。
- ・「報告・連絡・相談」をその場にいる支援員・世話人とできるようにしていく

(10) 相談支援事業

成果：

- ・サービス等利用計画やモニタリングを受給者証に添って行うことが出来た。
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、面談を来所していただくか電話で行うかを選択して頂いて行うことが出来た。
- ・新しく出来た施設の計画書を作成することが出来た。
- ・新規利用者様の計画を作成し、利用者様の人数が増えた。
- ・定期的に利用者様にお会いしているので、信頼関係が構築されて来ている。
- ・利用者様が利用している施設に訪問し、施設の方との情報を共有することができた。
- ・面談の時に利用者様のニーズの把握に努め、ニーズに合った施設を捜し、日数や時間数を確保できるように努力した。
- ・利用者様の問題解決に取り組み改善することが出来た。

反省：

- ・モニタリングの時期が重なっているために、利用している事業所に訪問し時間をかけて担当者からの聞き取りをすることが難しかった。
- ・サービス担当者会議を開く時間の確保が難しかった。

課題：

- ・研修に参加し相談支援専門員としてスキルを磨き利用計画作成や面談に役立てる。
- ・きめ細かなサービスを提供できるように多くの方のサービス担当者会議を開催する。

(1 1) 自家焙煎たいむ

成果：

- ・空気清浄機が入り、店内消毒・換気もこまめに行われ、コロナ感染対策が徹底されました。
- ・ツリーぴあの皆さんが午前中、清掃、豆の選別、計量の仕事をよくやってくれ、上達もしました。
- ・ツリーぴあの職員が豆の焙煎、珈琲の入れ方を覚え、午前中の対応もできるようになりました。
- ・久喜市役所の議会事務局で会議の際のコーヒー注文が定期的にあります。
- ・土曜日は、タイム利用者とパートナーの来店が増えました。特に、土曜日はタイムが密になるため、自家焙煎でお昼を食べたり休憩する方が増えました。
- ・タイム利用者さんの保護者の宣伝で、遠方（新潟・東京）の方が定期的に豆を購入してくださっています。
- ・大家さんのご厚意で、駐車場の整備がなされ、雨の日の乗り降りがスムーズにできるようになりました。
- ・大家さん、ご近所の方が花を植えてくださり、お店の周りがいつも花で綺麗に飾られていました。

反省：

- ・コロナ感染のためイベントが中止になり、イベント収入が減りました。
- ・新しい焙煎機の有効活用ができていません。
- ・単発で買いに来てくださる方もいたのですが、それを定期購入にまで繋げることができませんでした。

課題：

- ・コロナのためイベントの中止が続くそうなので、イベント収入に変わるものを考えていきたいです。
- ・講習会を開き、新しい焙煎機を使える人を増やしていきます。
- ・豆の購入者を増やすため、営業に力を入れます。

(1 2) 事務局・その他

成果：

- ・2年に渡るコロナ禍での運営となったが、役職員一体となり感染症対策をしたことにより、事業運営の確保がなされた。
- ・通所施設建設については、土地（久喜特別支援学校西側 500 坪）の取得、除外申請の認可もされ、**現在農地転用許可・開発許可申請を 6 月認可**に向けて準備を進めている段階であり、その後、造成工事に着手する予定であります。
- ・請求事務ソフトの切替に向けて、各事業所とも連携し大幅な経費節減につながっている。
- ・各事業所の PC も増え、共有フォルダでのやり取りができるようになり、IT 化が進んだ。また、コロナ禍でのリモートワークを図るべき、ZOOM を導入した。また、各事業管理者と役員、事務局等を LINE でつなぎ、タイムリーな情報共有、要員の効率的な活用を図ることにより、スムーズな事業所運営に大きく貢献している。
- ・決算見込みを早めに出し、各事業所での備品等をすみやかに購入することができた。
- ・新年度に向け、ハローワーク、福祉人材、民間求人広告社等に幅広く求人をかけ、数名の

正社員、パート職員を採用することができた。

- ・経年劣化の激しい車両については、リース契約、中古車等購入を検討する。
- ・虐待委員会、安全衛生委員会ともに委員の意識が高まり、各事業所にて独自の取り組みを行うことができた。とくにコロナ対策（検温、手洗い、消毒、換気、マスク着用）は各事業所での徹底が見られた。
- ・国・県の感染対策補助金で、各事業所に非接触型体温計や空気清浄機、その他空気清浄機付きエアコン、消毒液、アクリル板等を購入することができた。
- ・県監査（本部、障害福祉サービス、4つのデイサービス）並びに生活サポートの監査を、指導事項もなく、無事に終えることができた。
- ・第一生命労働組合、支援者・保護者等から寄付金をいただいた。

反省：

- ・コロナ禍でスケジュール調整がうまくいかなかったり、連絡事項や報告の遅れで打ち合わせ通りに進まないこともあった。
- ・安全委員会等での取り組みや強度行動障害者への支援会議等に取り組んだものの、労災適用件数はなかなか減少しなかった。
- ・安全運転講習も月1回のペースで各管理者経由で行っていたが、今年度は不注意による交通事故が多かった。
- ・各事業所で残業時間の管理が徹底されていないケースがあった。
- ・コロナ禍のため様々なイベントが中止になった。

課題：

- ・諸規程の職員への浸透を図り、規程に沿った運営を徹底し順守していく。
- ・通所施設、グループホーム建設に向けて、財務内容、金融機関との連携を踏まえてスケジュール化し、理事会・評議員会で議論を踏まえて建設を進めていく。
- ・令和5年度の運営開始予定のグループホームに向け利用者・要員確保はもとより建築・事業資金の確保等適切に関係機関と連携し対処する。
- ・IT化をさらに進め、事務の簡略化を図る。
- ・事故等の緊急性のできごとに、より冷静かつ速やかに対応出来るようにしていく。
- ・本部、各施設管理者・職員の意識の統一および報・連・相の徹底を図る。
- ・事務局で、障害福祉・移動支援・生活サポートの請求事務を行い、経理との連携を図る。
- ・職員全員が障害者支援法及びタイムの基本理念のもと支援できるよう内部・外部研修を行う。
- ・危機管理マニュアル、虐待防止法、安全衛生、ヒヤリハット、危険予知訓練の研修を継続的に行い、事件事故等がない支援を行う。
- ・事故やヒヤリハットが生じた際、謝罪を迅速に行うと同時に、「改善案」も書面にて提示するように徹底する。
- ・法改正に伴い、全事業所が身体拘束説明書および記録書を整備し遺漏なきよう徹底する。
- ・事務局の仕事の洗い出しと役割分担の明確化。
- ・職員のPCのスキルアップを図るための研修を行う。
- ・事務局本来の業務である、理事会で決定した業務の遂行と意思決定事項の具現化を行い、人事管理も含め職員全員が働きやすい環境整備を行う。
- ・各役職の行うべき業務について、明確化していく。
- ・助成金に関する情報を入手して、各種助成金の申請を行う。
- ・担当税理士、社労士の先生のアドバイスのもと、社会福祉法人経理、労務管理を遂行していく。
- ・残業時間数の管理を徹底する。
- ・地域との連携、さまざまな団体・関係機関とのネットワークづくりを積極的に行い、障害児者及び法人への理解者、支援者を増やす。

・「たいむ共生会を支える会」の周知、会員の募集・拡大を図るとともに、併せて寄付金の依頼等を周知し法人の認知度、存在感を向上させる。

3 令和3年度 理事会・評議員会開催実績

(1) 理事会

・第1回 理事会

：開催日時 令和3年6月1日（火） 10時00分

：開催場所 久喜総合文化会館 会議室

(1) 提案事項

第1号議案 令和2年度計算書類、財産目録及び事業報告等の承認について

第2号議案 定時評議員会の開催日時・場所、議題及び議案の決定について

第3号議案 定時評議員会で選任する理事・監事候補者の決定について

第4号議案 理事及び監事の報酬等の額について

第5号議案 設計事務所選定の件について

第6号議案 令和4年度施設整備補助事業（本部・障害福祉サービス事業所建物建設）の申請について

第7号議案 規程の制定及び修正について

(2) 報告事項

① 令和3年度施設整備補助事業（グループホーム建設）の経過について

② 理事長・業務執行理事の執行状況について

(3) その他

・第2回 理事会

：開催日時 令和3年6月24日（木） 14時45分

：開催場所 久喜総合文化会館 会議室

(1) 提案事項

第1号議案 理事長及び業務執行理事の選任について

第2号議案 重要な役割を担う職員の選任について

第3号議案 役員及び監事に対する報酬等の支給の基準について

(2) 報告事項

①一般競争入札公告（案）について

・第3回 理事会

：開催日時 令和3年7月21日（水） 10時00分

：開催場所 清久コミュニティセンタ 研修室1

(1) 提案事項

第1号議案 令和3年度社会福祉施設等施設整備費再協議書の提出について

第2号議案 令和4年度社会福祉法人設立認可等協議書の提出について

第3号議案 法人本部等建設並びにグループホーム建設に係る今後の対応方針について

(2) 報告事項

①令和3年度社会福祉施設等施設整備費の国庫補助に係る協議の結果について

(3) その他

・第4回 理事会

：開催日時 令和3年11月26日（金） 10時00分

：開催場所 清久コミュニティセンタ 研修室1

(1) 提案事項

- 第1号議案 令和3年度事業計画（補正予算）の一部変更について
第2号議案 令和4年度施設整備補助事業（本部・障害福祉サービス事業所建物建設）の申請取下げについて
第3号議案 定時評議員会の開催日時・場所、議題及び議案の決定について

(2) 報告事項

- ①令和3年度中間決算報告について
②社会福祉施設等指導監査の実施について
③監査結果の報告について
④新型コロナウイルス感染状況の経過報告について
⑤開発許可申請状況について（グループホーム）
⑥役員報酬見直しについて

(3) その他

- ①久喜市女と男の共生セミナー委託事業について
②人事異動について（管理者交代 富岡⇒深川）9/1付

・第5回 理事会

：開催日時 令和4年3月24日（木） 9時30分

：開催場所 久喜総合文化会館 会議室

(1) 提案事項

- ・第1号議案 令和4年度事業計画（案）の承認について
- ・第2号議案 経理規程の一部改正（案）について
- ・第3号議案 給与規程の一部改正（案）について
- ・第4号議案 定時評議員会の開催日時・場所、議題及び議案の承認について

(2) 報告事項

- ①社会福祉施設等指導監査の結果について
②福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金の支給に関する規定について
③開発許可（通所施設建設）にかかる協議経過について
④新型コロナウイルス感染状況の経過報告について
⑤理事長・業務執行理事の執行状況について

(3) その他

(2) 評議員会

・第1回 評議員会

：開催日時 令和3年6月24日（木） 13時30分

：開催場所 久喜総合文化会館 会議室

(1) 決議事項

- 第1号議案 令和2年度計算書類、財産目録及び事業報告等の承認について
第2号議案 理事・監事の選任について
第3号議案 理事及び監事の報酬等の額について

(2) 報告事項

- ① 令和3年度施設整備補助事業（グループホーム建設）の経過について
② 令和4年度市移設整備補助事業（本部・障害福祉サービス事業所建物建設）の申請について
③ 理事長・業務執行理事の執行状況について

・ 第2回 評議員会

：開催日時 令和3年12月23日（木） 10時00分

：開催場所 久喜総合文化会館 会議室

(1) 決議事項

第1号議案 令和3年度事業計画（補正予算）の一部変更について

第2号議案 令和4年度施設整備補助事業（本部・障害福祉サービス事業所建物建設）の申請取下げについて

(2) 報告事項

①令和3年度中間決算報告について

②社会福祉施設等指導監査の実施について

③監査結果の報告について

④新型コロナウイルス感染状況の経過報告について

⑤開発許可申請状況について（グループホーム）

⑥役員報酬見直しについて

⑦理事長・業務執行理事の執行状況について

(3) その他

・ 第3回 評議員会

：開催日時 令和4年3月24日（木） 10時30分

：開催場所 久喜総合文化会館 会議室

(1) 決議事項

第1号議案 令和4年度事業計画の承認について（案）

(2) 報告事項

①社会福祉施設等指導監査の結果について

②福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金の支給に関する規定について

③開発許可（通所施設建設）にかかる協議経過について

④新型コロナウイルス感染状況の経過報告について

⑤理事長・業務執行理事の執行状況について